

RM-TT Firmware

主なアップデート内容

V2.0.0

新機能

- RM-TT、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA テーブルトップソリューションが、「Zoom」の認証を取得しました。
- Ch2 の信号処理に Low Latency Mode を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Dante 出力信号の内容を選択するための Output Router を追加しました。
- AES67 に対応しました。

改善点

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- Dante Output Ch.1/Ch.2 を個別に Mute できるようになりました。合わせて、LED の Mute ステータス表示に連動させるパラメーターを追加しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.7.0

仕様変更

- AGC (Auto Gain Control) のパラメータ初期値 (Low) を High に変更しました。

改善点

- エコーキャンセラーの動作を改善しました。

V1.5.0

新機能

- RM-TT と RM-CR を組み合わせて使用する場合に、非通話時の RM-TT のステータス LED の色を変更できるようになりました。変更には RM-CR と Web GUI「RM-CR Device Manager」が必要です。

V1.2.0

新機能

- Web GUI「RM-TT Device Manager」を使用できるようになりました。
- ボタンを押している間だけマイクが有効になる Push-to-talk 機能を追加しました。
- グループごとにマイクのミュートが連動するミュートグループ機能を追加しました。RM-CR と組み合わせた環境で使用できます。
- 指向性の設定に合わせて、マイクの LED が点灯する機能を追加しました。3つのカーディオイドタイプと双指向性タイプの場合に使用できます。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。